



第2回 SSIサロン

# 科学技術と地域資源 のコラボレーション ～支え合いの仕組みを考える～

2018.7.18 Wed. 18:00-20:30

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

●参加費:1000円 ●定員:先着20名

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追求するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

## 趣旨

災害多発国である日本は、科学技術や土木技術によるレジリエンス構築において世界の最先端に位置します。一方で、格差社会、無縁社会、リスク社会に生きる私たちは分断され、他者と公的および私的な諸問題をシェアすることが困難な状況にあります。このような日本社会にあって、非常時に対してレジリエントな社会を構築することは喫緊の課題であると同時に、平常時の見守り・支え合いのシステムを構築していくことが重要となっています。地域のお寺や神社、そして自治会といった地域資源を見直し、そこに科学技術の力を導入することで、安全・安心社会の構築、支え合いの仕組みを考えたいと思います。

## プログラム

18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授

18:10 話題提供 稲場圭信 人間科学研究科教授、SSI基幹プロジェクト「地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築」代表  
「地域資源と防災・見守り」

幸田栄長 一般社団法人 全国自治会活動支援ネット理事長  
「国民の防災意識を超える防災対策はできない!」

山田一憲 人間科学研究科講師  
「深層学習を利用した野生動物検出通知システムの開発」

石川浩二 NTN(株)執行役員  
「NTN社の技術とみまもりロボくん実験機」

18:40 意見交換

19:10 ディスカッション(飲み物・軽食を取りながら)

